

おるく

2023年1月10日(火)

後期後半 なりたい自分づくりの仕上げの時

1年間で最後の期間、後期後半がスタートしました。学校へ来るのは今日を入れて51日間。本当に短い期間ですが、1年間の締めくくりをしながら、4月から2年生となっていくための準備期間です。

学校の中でのあなたたちの立場は、4月からガラッと変わります。そう、後輩をもつ学年になります。この後期後半は、1年先に中学校で学んだ先輩として、後輩に誇れる姿をつくり出すことが最大の課題です。新1年生に「自分たちもあんなふうになりたい」という「憧れ」をもたせてこそ本物の先輩です。言葉で言う事も大事、でももっと大切なことは実際の姿、事実で示すことです。何も新1年生のためにそうするわけではありません。後輩に胸を張ることができるようになること、それがあなたたち一人一人の成長です。去年の4月、中学校生活が始まった時に、「こんな自分になりたい!」という夢をもってスタートしましたよね。そういう自分づくりの仕上げの時です。

先輩になるのは誰でもできます。でもどんな先輩になるか、それはその人の努力によってさまざまです。大切にしたいことが4つあります。

1つ目は、毎日の生活の中で、できて当たり前のことを仲間と力を合わせてやりきっていく、やり続けていくことです。2分間着席など時間に関わる行動、きちんと授業に取り組めること、掃除の時間に一生懸命働くこと、学校生活のルールを守って生活できること、など去年の4月から大切にしてきた当たり前のことを当たり前になりきれることです。そういう力を身に付けることが、「自分づくり」の土台になります。冬休み明け、スタートダッシュをするには、時間を意識した行動が欠かせません。

2つ目は、きちんとした学力を身に付けることです。学力には「目に見える学力」と「目に見えない学力」の2つがあります。「目に見える学力」は言わば結果に表れる学力です。テストのための勉強ではありませんが、やっぱりテストで結果が出れば、それは力がついていると実感できます。自分の思うような結果が得られるように頑張りましょう。先生たちは頑張るあなたたちをいくらでも支えます。もう一つの「目に見えない学力」は「学ぼうとする力」です。自ら学ぼうとする人は、どんどん力をつけていきます。授業を真剣に受けること、確実な家庭学習の習慣をつけること、それができるようになることを急がなくてはなりません。「やろうとしているけれど・・・」だけで済ましてはおけない時期に入っています。

3つ目は、西可児中学校の伝統を受け継ぐ力を身に付けることです。2ヶ月後には、3年生が卒業します。それと同時に来年度のリーダーを決める機会がやってきます。先輩たちが築いてきた伝統、それを受け継げるだけの力とやる気を発揮していくときは近いです。来週には3年ぶりの全校音楽会があり、そこでは先輩たちの合唱を聴くこととなります。一度は途切れた合唱という伝統を、新たな伝統として先輩たちと一緒に築いているところです。先輩たちが合唱にかける熱意をしっかりと受け取るには、自分たちがよりよい合唱を目指していないとできません。まずは本気で音楽会を向かっていきたいです。

4つ目は、最高の形で学級を解散することです。あと3ヶ月で今の学級は解散します。それは、どんなに勢いのある学級でも、どんなに居心地の悪い学級でも同じです。どうせ同じ時間を過ごすなら、みんなが頑張ろうという雰囲気のある学級であってほしいし、最高の形で解散してほしいです。仲間を傷つける言葉や行動が何事もなく通る、頑張る仲間の声を無視する、そんな集団では安心して生活することはできません。どんな学級にしていくか、そのことに一人一人が役割と責任をもって生活したいです。ここまでの学級と自分を振り返り、学級の中で何を頑張るのか、何にブレーキをかけるのか、後期後半のスタートのときにきちんと確かめておきましょう。

さあ、今日からの51日間は、1年生のスタートで思い描いた「なりたい自分」になるための仕上げの時です。